

主題：神の奥義の執事

メッセージ 10

旧約の予表と型の成就における神の奥義としてのキリスト (1)

聖書：創 1:1-3, 16-18. 2:9. ヨハネ 1:4-5, 9, 8:12. 20:22. 4:14 後半. 6:35, 57. 15:1, 5

I. キリストは真の光、すなわち、世の光であり、命の光です——創 1:1-3, 16-18.

ヨハネ 1:4, 9. 8:12. 9:5. I ヨハネ 1:5 :

A. 「なぜなら、『暗やみから光が照りいでよ』と言われた神は、わたしたちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を、輝かせてくださったからです。しかし、わたしたちはこの宝を土の器の中に持っています。それは、この卓越した力が神のものであって、わたしたちからではないことが現れるためです」——II コリント 4:6-7 :

1. 暗やみから光が照りいでるように命じられた神は、わたしたちの心の中を照らして、わたしたちの中に宝、すなわち、栄光のキリストをもたらしました。栄光のキリストは神の具体化であって、わたしたちの命、またすべてとされます。宇宙における彼の照らしは旧創造を生み出しました。今やわたしたちの心の中にある彼の照らしは、わたしたちを新創造とします——エゼキエル 36:26-27, 31。

2. わたしたちは、その霊、御言葉、光を通して新創造となりました。その霊としてのキリストは神の実際であり、御言葉としてのキリストは神の語りかけであり、光としてのキリストは神の照らしです——創 1:1-3. ヨハネ 16:13-15. 1:1-3. ヘブル 1:1-2. ヨハネ 8:12. 9:5。

3. 神の照らしは新契約の奉仕者と彼らの務めを生み出し、彼らを神聖な光の受託人とします。

B. 光は三一の神の臨在であるキリストです。彼は暗やみの中で輝き、暗やみを追い払うので、暗やみは彼に打ち勝つことができません—— 1:4-5。

C. わたしたちは光の中で、聖徒たちの分け前であるキリストを享受しています。神の中心思想とは、わたしたちがキリストを享受することを神が欲しておられるということです——コロサイ 1:12 :

1. 神は光です—— I ヨハネ 1:5。

2. キリストは光です——ヨハネ 8:12. 9:5。

3. キリストの命は光です—— 1:4。

4. 神の言葉は光です——詩 119:105, 130. ヨハネ 6:63. イザヤ 66:2, 5 前半. 申 17:18-20. 雅 8:13。

5. 光は内なる命の感覚、すなわち、内なる照らしです——ヨハネ 8:12. 箴 20:27. 啓 4:5. ローマ 8:6. エペソ 5:8-9. I ヨハネ 2:8。

6. 聖徒たちは光です——マタイ 5:14. 参照、ルカ 11:34-36。

7. 召会は光を輝かし出す——啓 1:20. 詩 73:16-17。
 8. 光はわたしたちが宣べ伝える福音です——ヨハネ 1:5. ルカ 2:32. 使徒 13:47. 26:18, 23. II コリント 4:4。
- D. わたしたちは光の機能を見る必要があります：
1. 光はわたしたちの目を開き、わたしたちに霊的な視力を与えて、キリストの最高の尊さと、栄光の召会を持つという彼の目標を見させます——エペソ 1:17-18. 詩 36:9. 使徒 26:18。
 2. 光はわたしたちを責め、神の臨在の中でわたしたちの真の状態と実際の問題を暴露し、明らかにします——エペソ 5:13-14. 啓 3:18。
 3. 光は自己と、わたしたちの内側にあって、神と一致しないあらゆるものを殺します——使徒 22:6-10. イザヤ 6:1-8。
 4. 光は命をもってわたしたちを供給します——ヨハネ 8:12。
 5. 光はわたしたちをいやします——マラキ 4:2. 参照、箴 4:20-22。
 6. 光は神をわたしたちに注入します—— 20:27. 啓 4:5. 5:6。
 7. 光はわたしたちが世にあって発光体のように輝くためです——ピリピ 2:15-16 前半。
 8. 光はわたしたちの中で命と愛の王国として支配します——コロサイ 1:12-13. 創 1:16-18。
 9. 光は神のあわれみ深い慈しみをもって、わたしたちの上に夜明けとして現れ、わたしたちの足を平安の道へと導きます——ルカ 1:78-79。
10. 光はわたしたちを神化します——マラキ 4:2. 民 24:17. マタイ 13:43. ダニエル 12:3. 箴 4:18。
- E. 照らしは神のあわれみにかかっています。ですから、わたしたちは自分自身の光を作り出すのではなく、エホバの御名に信頼し、自分の神に依り頼むべきです——ローマ 9:15. 使徒 9:3-4. イザヤ 50:10-11。
- F. わたしたちは照らされるための方法を見る必要があります：
1. わたしたちは光を欲し、自ら進んで照らしを受け、またそれを受け入れなければなりません——参照、ピリピ 2:13。
 2. わたしたちは何も保留することなく、自分自身を主に開き、わたしたちの心全体を彼に向けて、すべての事柄を彼の御前に広げなければなりません——箴 20:27. 啓 4:5. II コリント 3:16-18. 参照、列王下 23:24-25。
 3. わたしたちは自分自身、すなわち、自分の行ない、見解、物事の見方、感覚、観念、意見、思想、言葉を停止して、キリストによって置き換えられなければなりません——イザヤ 56:2. 55:1. 2:5. ヨハネ 11:20-28. ルカ 10:40。
 4. わたしたちは光と論争してはなりません——参照、雅 5:2-6。
 5. わたしたちは絶えず光の中を生きなければなりません。それは、わたしたちのクリスチャン生活全体において、新しく、新鮮な照らしを享受することができるためです——エペソ 5:8-9. I ヨハネ 1:7; 2:8。

G. わたしたちがキリストを神聖な光として享受することの永遠の結果は、わたしたちが聖なる都、すなわち、神聖な光を永遠に拡散させる者になるということです——啓 21:23. 22:5。

II. キリストは宇宙の中心である命の木（真の命）であって、ご自身を選ばれた民の中へと分与し、彼らの生み出す命となります——創 2:9. I テモテ 6:19. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:6 :

A. 神の定められた御旨によれば、地は宇宙の中心であり、エデンの園は地の中心であって、命の木はエデンの園の中心です。このゆえに、宇宙は命の木を中心としています。

B. 命の木を食べる、すなわち、キリストをわたしたちの命の供給として享受することは召会生活における主要な事柄でなければなりません——啓 2:7. 22:2, 14。

C. 創世記における命の木の象徴の解釈と成就是、ヨハネによる福音書において見いだされます。それは、命の目的が神の家である召会を建造するためであることを啓示しています—— 1:4. 10:10 後半. 14:6 前半. 2:19-22 :

1. ヨハネによる福音書にある命の木は、命の息、命の水、命のパン、命の光、命のぶどうの木という形を取っています。これは、命が維持されなければならないことを示しています—— 20:22. 4:14 後半. 6:35. 8:12. 15:1, 5。

2. 命は人のあらゆる状況の必要に応じ、命の結果は祝宴の家（バイタルグループの召会生活）です——ヨハネ 12:1-11。

3. 召会を生み出し、増し加えるために主が必要としている働きとは、外側で活動しようと努めることではなく、内なる命を満ちあふれさせて、流し出すことです——ヨハネ 7:37-39. 4:10, 14. I コリント 3:13. ローマ 2:28-29。

D. わたしたちがキリストを命の木として享受することができるのは、命の木の原則、すなわち、神に依存する原則を守ることに依ります。知識は独立を作り出しますが、命は依存することを要求します——ヨハネ 6:57. 4:10, 14. 詩歌 210 番、7 節 :

1. 雅歌において、主の愛する追い求める者は自分自身で、霊的な荒野（この世的な環境）から上って来ましたが（3:6）、今や彼女は寄る辺のなき者のように、自分の愛する方に寄りかかり、彼に信頼することによって、肉的な荒野（地的な領域）から上って来ます（8:5 前半） :

a. 「自分の愛する方に寄りかかり」は、自分には力がなく、主を離れては歩くことができないと彼女が感じていることを暗示しています。彼女は、自分自身を愛する方に担ってもらい重荷とします——参照、II コリント 12:9-10; 13:3-4。

b. 「自分の愛する方に寄りかかり」は、ヤコブのように、もものつがいが触れられて、彼女の天然の力が主によって対処されたことを暗示しています——創 32:24-25. 参照、ホセア 12:3-4。

c. 「自分の愛する方に寄りかかり」は、彼女が自分自身の度量を超える圧迫

にあるのを見いだしていることを暗示しています。これは、荒野の旅が終わるまで続きます——参照、Ⅱコリント 1:8-9。

2. 彼女は主が来られるのを待っているとき、主と共に出て行って、彼を迎えます (マタイ 25:1)。わたしたちの愛する方に寄りかかることによって、わたしたちは絶えず彼をわたしたちの「出て行く」力として享受し、この世を後にします (創 5:22-24)。
 3. 彼女は彼女の愛する方に、彼の愛 (心) と彼の力 (腕) によって彼女を守ってくださるようにと求めます。彼女は、自分が最後まで忍耐することができるかどうかは、自分の忍耐にかかっているのではなく、主の保護にかかっていることを認識しています——雅 8:6。
- E. わたしたちがキリストを命の木として享受することができるのは、彼を食べることによります。神が最初に人を取り扱ったことについての絵は、行なうことについての絵ではなく、食べることについての絵でした——創 2:9. ヨハネ 6:57 :
1. わたしたちは、神の言葉を食べ、信仰の言葉と神のエコノミーの良い教えの言葉をもって養われることによって、キリストを食べます。それはわたしたち自身とわたしたちに聞く人たちの両方を救うためです—— 63 節. エレミヤ 15:16. エゼキエル 3:1-3. I テモテ 4:6-7, 15-16。
 2. わたしたちは、神の大いなる喜びのために彼を食べ、彼を追い求める人たちとの接触にとどまることによって、キリストを食べます。同時にわたしたちは自分たちが学んだ教えに対して分裂を作り出す人たちから離れ去ります——レビ記 11:2、フットノート 1. 5:2. I コリント 15:33. 箴言 13:20. II テモテ 2:22. ローマ 16:17。
- F. 命の木の枝として、わたしたちは彼の中に住むことによってキリストを享受することができます——ヨハネ 14:6. 15:4-5 :
1. わたしたちは思いを霊につけることによってキリストの中に住みます——ローマ 8:6。
 2. わたしたちはキリストの言葉の中に住むことによって、キリストの中に住みます。それは彼の言葉がわたしたちの中に住むことができるためです——ヨハネ 8:31. 15:7。
- G. キリストを命の木として享受することによって、わたしたちは新エルサレムになり、命の木であるキリストを他の人に供給することによって、わたしたちは新エルサレムを建造しています。新エルサレムは命の木の永遠の結果です。